

2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月13日

上場会社名 株式会社ネオジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3921 URL https://www.neo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 齋藤 晶議
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務担当 (氏名) 常盤 誠 (TEL) 045-640-5917
 四半期報告書提出予定日 2021年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	4,378	11.5	991	20.4	1,088	30.2	741	43.8
2021年1月期第3四半期	3,925	68.1	822	49.7	836	49.0	515	34.4

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 781百万円(41.6%) 2021年1月期第3四半期 552百万円(37.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	49.81	49.65
2021年1月期第3四半期	34.73	34.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	7,049	5,040	71.3
2021年1月期	6,742	4,431	65.6

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 5,025百万円 2021年1月期 4,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2022年1月期	—	0.00	—		
2022年1月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,910	11.0	1,183	28.6	1,287	35.7	864	27.6	58.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期3Q	14,895,600株	2021年1月期	14,892,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	223株	2021年1月期	223株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期3Q	14,893,135株	2021年1月期3Q	14,853,487株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少し2021年9月末をもって緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除され、ワクチン接種も進展し、経済活動の正常化が期待されるものの、一方で新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されており、依然不透明な状況が続いております。また、当社の子会社が活動するASEAN地域においては、新型コロナウイルス感染症の影響により断続的に企業活動の制限が課せられるなど依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが属するIT業界におきましては、新型コロナウイルス感染症への対応として臨時的に導入されたりモータワークが制度化され継続される傾向がみられるなど、従来とは異なる働き方が広がってきており、このような環境下においても効率的に支障なく業務を遂行することを可能とするためのIT投資に対する関心は引き続き高い水準で推移していくものと考えております。

このような状況の中、2021年3月に昨年度リリースしたdesknet's NEOのスケジュールアプリのバージョンアップを実施したほか、2021年5月に自治体や金融機関などセキュリティ対策のためインターネットとは分離されたネットワーク環境で業務を行っている組織においても、外部と安全にコミュニケーションを行うことができる環境構築ができるようChatLuckの機能拡張を実施いたしました。また、2021年6月には、独立系データセンタープロバイダーである株式会社アイネットとの共同事業として、学校と保護者間での安心・安全・安価・シンプルなコミュニケーションツールとしてChatLcuk SCを開発提供いたしました。さらに、2021年9月には、ペーパーレス会議を実現する新機能SmartViewerやAI技術を活用したFAQシステムを搭載したdesknet's NEOバージョン6.1をリリースいたしました。

また、2021年2月に「ペーパーレス化の推進と業務フローの見直し推進を図るとともに、チャットツールを組み合わせ、テレワーク実施時に業務改善がしやすいよう工夫が見える」ことなどが評価され、日本テレワーク協会「第21回テレワーク推進賞(テレワーク促進部門)」において「奨励賞」を受賞いたしました。2021年10月には、IT製品比較・レビューサイト「ITreview」が主催する「ITreview Grid Award 2021 Fall」においてグループウェアdesknet's NEOがグループウェア部門とワークフロー部門で11期連続で「Leader」を、ビジネスチャットChatLuckがビジネスチャット部門で5期連続「High Performer」をそれぞれ受賞いたしました。

この他、前期まで非連結子会社でありましたDELGUI Inc. につきましては、当期より本格的に稼働を開始したことにより重要性が高まったこと、NEO THAI ASIA Co., Ltd. につきましては新規設立により、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,378,871千円(前年同期比11.5%増)、営業利益は991,035千円(前年同期比20.4%増)、経常利益は1,088,719千円(前年同期比30.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は741,889千円(前年同期比43.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア事業)

売上区分別の状況を示すと、以下のとおりであります。

売上区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)		
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
クラウドサービス	1,547,953	61.0	1,768,197	61.3	14.2
プロダクト	948,646	37.3	1,068,558	37.0	12.6
技術開発	42,761	1.7	49,435	1.7	15.6
合計	2,539,361	100.0	2,886,192	100.0	13.7

① クラウドサービス

クラウドサービスの主要サービス別の売上は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEOクラウド	1,259,097	1,480,206	221,109	17.6
AppSuiteクラウド	37,559	64,524	26,965	71.8
ChatLuckクラウド	43,376	45,450	2,073	4.8
その他月額売上	159,464	146,973	△12,491	△7.8
月額売上合計	1,499,498	1,737,155	237,656	15.8
その他役務作業等	48,455	31,042	△17,412	△35.9
クラウドサービス合計	1,547,953	1,768,197	220,244	14.2

クラウドにて提供する、desknet's NEOクラウドの利用ユーザー数が順調に推移したことにより、同サービスの売上高は前年同期比221,109千円増加し、1,480,206千円（前年同期比17.6%増）となりました。また、AppSuiteクラウドはクラウドサービス全体に占める売上の割合はいまだ小さいものの、前年同期と比較して26,965千円増加し、64,524千円（前年同期比71.8%増）と順調に利用ユーザー数が拡大しております。その他月額売上につきましては、主に主要サービス以外の個別案件の減少により前年同期と比較して12,491千円減少し、146,973千円（前年同期比7.8%減）となりましたが、おおむね期初の想定どおりに推移しております。その他役務作業につきましては、主にASP事業者向けのカスタマイズが減少したことにより17,412千円減少し、31,042千円（前年同期比35.9%減）となりました。ASP事業者向けのカスタマイズの減少につきましても期初の想定どおりとなっております。

以上の結果、クラウドサービス全体での売上高は前年同期比220,244千円増加し、1,768,197千円（前年同期比14.2%増）となりました。

② プロダクト

プロダクトの主要サービス別の売上は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEOエンタープライズライセンス	138,518	145,231	6,712	4.8
desknet's NEOスモールライセンス	47,552	41,205	△6,346	△13.3
AppSuite	51,840	50,510	△1,329	△2.6
ChatLuck	24,399	33,144	8,745	35.8
その他ライセンス売上(*1)	8,167	5,028	△3,139	△38.4
ライセンス売上合計	270,477	275,120	4,642	1.7
サポートサービス	505,343	531,277	25,933	5.1
カスタマイズ	73,171	93,920	20,749	28.4
その他役務作業等(*1)	99,654	168,240	68,585	68.8
プロダクト合計	948,646	1,068,558	119,911	12.6

(*1)当第3四半期累計期間より、従来「その他ライセンス売上」に含めていた値引額を「その他役務作業等」に含めて集計する方法に変更しております。これに伴い前第3四半期連結累計期間の金額も組み替えて表示しております。

大規模ユーザー向けのdesknet's NEOエンタープライズライセンスにつきましては、上期は前期比マイナスで推移していましたが、当初の計画通り当第3四半期連結累計期間においては前年同期比4.8%増の145,231千円と前年同期の売上を上回りました。desknet's NEOエンタープライズライセンスにつきましては、大規模ユーザーの企業様等では運用人員を含めた環境が整っていることが多く、クラウドでの利用よりも大規模ユーザーになるほどユーザー単価面でのメリットが大きいことから、当面、desknet's NEOエンタープライズライセンスの需要が大きく減少することは想定しておらず、むしろ当社製品の強みが発揮できる領域であり、desknet's NEOクラウドとともに注力していくべきものと認識しております。

中小規模ユーザー向けのdesknet's NEOスモールライセンスにつきましては、クラウドサービスを選択されるお客様が増加傾向にあることから、売上高は前年同期比6,346千円減少し、41,205千円（前年同期比13.3%減）となりました。desknet's NEOスモールライセンスにつきましては、クラウドサービスの利用が一般化してきているため減少傾向にあると認識しております。

AppSuiteライセンスおよびChatLuckライセンスにつきましては、desknet's NEOエンタープライズライセンスとの同時購入されることが多い傾向にありますが、当第3四半期連結累計期間においては、AppSuiteライセンスが前年同期比2.6%減の50,510千円とおおむね同水準の売上となった一方、ChatLuckライセンスにつきましては前年同期比35.8%増の33,144千円と前年同期の売上を上回る結果となりました。

サポートサービスの売上高は、desknet's NEO（旧製品を含む）のサポートサービスの売上高が前年同期比15,179千円増加し、469,783千円（前年同期比3.3%増）となったことを主な要因として25,933千円増加し、531,277千円（前年同期比5.1%増）となりました。また、カスタマイズにつきましては、比較的規模の大きな案件の受注額が増加したことを主な要因として、売上高は前年同期比20,749千円増加し、93,920千円（前年同期比28.4%増）となりました。

以上の結果、プロダクト全体での売上高は前年同期比119,911千円増加し、1,068,558千円（前年同期比12.6%増）となりました。

③ 技術開発

技術開発につきましては、積極的に受託開発を行う方針ではありませんが、従来からの継続案件売上が増加したことを主な要因として、売上高は前年同期比6,674千円増加し、49,435千円（前年同期比15.6%増）となりました。

以上の結果、ソフトウェア事業の売上高は2,886,192千円（前年同期比13.7%増）、セグメント利益は924,376千円（前年同期比32.5%増）となりました。

(システム開発サービス事業)

システム開発サービス事業は、子会社である株式会社Pro-SPIREが展開する事業で構成されており、同社が長年培ってきたクラウドインテグレーション、システムインテグレーションのノウハウを基礎に技術者の育成を図り、先端技術を活用し新たな顧客ニーズを満たすシステムエンジニアリングサービスを主に提供しております。

システム開発サービス事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務での対応が継続するなど環境の変化はあるものの、お客様のニーズに柔軟に対応し、売上高は当初の計画を上回って推移いたしました。一方で、利益面では、夏季・冬季賞与の配分割合の見直しに伴い前期は費用計上額が小さくなっていたことや昇給等により人件費が増加したことを主な要因として、前年同期と比較して減少いたしました。

以上の結果、システム開発サービス事業の売上高は1,515,007千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は101,263千円（前年同期比25.4%減）となりました。

(海外事業)

海外事業は、海外子会社3社の事業で構成されており、現地企業向けにdesknet's NEOのライセンス販売、クラウドサービスの提供などを行っております。なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったDELGUI Inc.は重要性が増したため、NEO THAI ASIA Co., Ltd.は新規設立により、連結の範囲に含めております。

ASEAN地域においてはdesknet's NEOおよびAppSuiteを中心に販売活動を進めておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う活動制限令の発令等で、主にマレーシアでの営業活動が計画通りに進捗していないことなどにより、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向けの売上高は当初計画を下回って推移いたしました。なお、海外事業につきましては、当面投資が先行する計画であります。

以上の結果、海外事業の売上高は18,104千円、セグメント損失は34,610千円となりました。なお、海外事業につきましては、前第3四半期連結会計期間より新たに追加されたセグメントであり、対比期間が異なるため、前年同期との対比は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より306,345千円増加し、7,049,310千円となりました。これは主に、現金及び預金が270,483千円増加したことに加え、ソフトウェアの増加を主な要因として無形固定資産が76,887千円、債券（社債）の新規取得を主な要因として投資有価証券が148,807千円増加した一方で、債券（社債）取得に伴う外貨建MMFの解約を主な要因として有価証券が83,993千円減少したほか、前期まで非連結子会社であった子会社を新たに連結の範囲に含めたことを主な要因として投資その他の資産のその他が146,720千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より303,138千円減少し、2,008,719千円となりました。これは主に、前受収益が101,995千円増加した一方で、中間納付等により未払法人税等が58,171千円減少したこと、国内子会社における繰上げ返済により1年以内返済予定の長期借入金が54,495千円、長期借入金が46,434千円減少したこと、及び前第4四半期連結会計期間に実施した大型イベントの未払金の支払等により未払金が減少したことを主な要因として流動負債のその他が234,744千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より609,483千円増加し、5,040,590千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が741,889千円計上された一方で、163,809千円の剰余金の配当を実施したことにより、利益剰余金が561,836千円増加したこと、及びその他有価証券評価差額金が37,667千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、2021年3月11日付「2021年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,385,232	3,655,716
売掛金	723,064	732,354
有価証券	265,221	181,228
仕掛品	8,011	2,136
貯蔵品	3,358	2,407
その他	74,589	105,732
貸倒引当金	△2,297	△2,467
流動資産合計	4,457,180	4,677,107
固定資産		
有形固定資産	56,143	63,559
無形固定資産		
のれん	119,871	109,497
その他	249,285	336,546
無形固定資産合計	369,156	446,044
投資その他の資産		
投資有価証券	1,229,383	1,378,190
その他	631,638	484,918
貸倒引当金	△537	△510
投資その他の資産合計	1,860,484	1,862,598
固定資産合計	2,285,784	2,372,202
資産合計	6,742,964	7,049,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,324	158,711
1年内返済予定の長期借入金	54,495	—
未払法人税等	235,587	177,415
賞与引当金	115,876	109,467
前受収益	570,201	672,196
その他	592,548	357,804
流動負債合計	1,721,032	1,475,595
固定負債		
長期借入金	46,434	—
退職給付に係る負債	313,120	319,255
その他	231,271	213,867
固定負債合計	590,825	533,123
負債合計	2,311,857	2,008,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,303	295,597
資本剰余金	331,587	331,881
利益剰余金	3,763,453	4,325,290
自己株式	△384	△384
株主資本合計	4,389,960	4,952,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,260	69,928
為替換算調整勘定	△1,962	3,256
その他の包括利益累計額合計	30,298	73,184
非支配株主持分	10,847	15,021
純資産合計	4,431,107	5,040,590
負債純資産合計	6,742,964	7,049,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年10月31日)
売上高	3,925,754	4,378,871
売上原価	1,871,209	2,128,307
売上総利益	2,054,544	2,250,563
販売費及び一般管理費	1,231,661	1,259,528
営業利益	822,883	991,035
営業外収益		
受取利息	14,765	18,432
有価証券売却益	1,310	4,550
保険解約返戻金	—	61,362
その他	9,678	14,141
営業外収益合計	25,754	98,487
営業外費用		
支払利息	449	173
投資事業組合運用損	10,027	—
創立費	—	615
その他	1,767	13
営業外費用合計	12,244	803
経常利益	836,393	1,088,719
特別利益		
固定資産売却益	—	575
投資有価証券売却益	31,330	—
特別利益合計	31,330	575
特別損失		
投資有価証券償還損	499	482
投資有価証券評価損	105,917	—
特別損失合計	106,416	482
税金等調整前四半期純利益	761,307	1,088,812
法人税等	248,142	350,583
四半期純利益	513,165	738,228
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,716	△3,661
親会社株主に帰属する四半期純利益	515,881	741,889

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	513,165	738,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,727	37,667
為替換算調整勘定	△3,759	5,770
その他の包括利益合計	38,967	43,438
四半期包括利益	552,133	781,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555,977	784,775
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,844	△3,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったDELGUI Inc. は重要性が増したため、NEO THAI ASIA Co., Ltd. は新規設立により、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,538,212	1,384,582	2,959	3,925,754	—	3,925,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,148	17,657	—	18,806	△18,806	—
計	2,539,361	1,402,239	2,959	3,944,561	△18,806	3,925,754
セグメント利益又は セグメント損失(△)	697,482	135,817	△9,136	824,163	△1,279	822,883

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,279千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,884,897	1,492,607	1,366	4,378,871	—	4,378,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,294	22,400	16,738	40,432	△40,432	—
計	2,886,192	1,515,007	18,104	4,419,304	△40,432	4,378,871
セグメント利益又は セグメント損失(△)	924,376	101,263	△34,610	991,029	5	991,035

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額5千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。